



ICTを活用した「他者参照」で学びを深めよう

MナビTV情報教育チャンネルの「はじめよう！授業DX～動画でまとめてみよう～」はご覧になっていただけたでしょうか？これまでの授業を大きく変えずに授業改善ができる方法として大きな反響をいただきました。そこで、今回は授業DXの第2弾として「他者参照」についてご紹介します。最近、ICTを活用した授業実践例を見ると「他者参照」という言葉をよく耳にします。一見、馴染みのない言葉かもしれませんが、実はこれまでの授業でも行われていたことなのです。



例えば、授業中に他の子供が発言しているのを聞き、それらを参考にして自分の考えを深める場面は、まさに「他者参照」です。これまでの授業では、教師が挙手した子供を指名したり、机間巡視で発表者を指名することが一般的でしたが、こうした一斉授業の形態では発表する子供の人数が限られたり、教師が意見を選んで共有するため、一部の意見しか「他者参照」できていませんでした。

しかし、ICTを活用した「他者参照」を取り入れることで、より多くの情報を共有し、子供たち自身が主体的に必要な情報を探して互いに参照し合うことが可能になります。これにより、教師主体ではない、子供が自ら学びを深める機会を広げることができます。

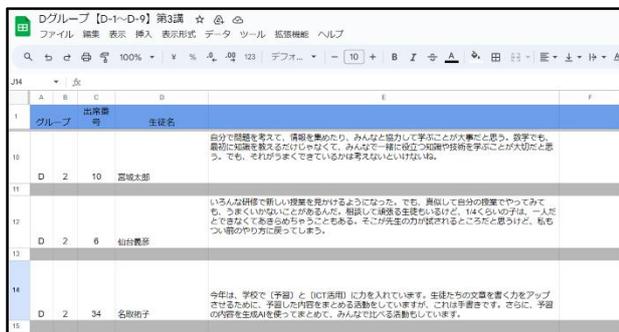


図1 Google スプレッドシートで自分の考えを入力している例

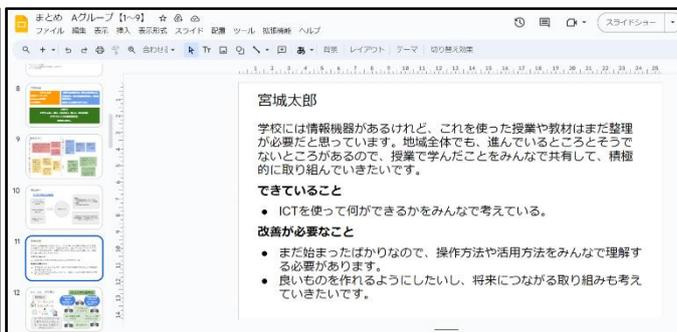


図2 Google スライドで、一人1スライドでまとめを行っている例

図1や図2のように、クラウドサービスを活用して「他者参照」を行うことで、子供たちは多様な考えに触れることができます。「他者参照」を継続的に行っている先進校では、「学びから離れる子供が少なくなった」「最初は人のまねをしていた子供が徐々にオリジナリティを出せるようになった」と報告されています。

操作方法を詳しくは、MナビTV情報教育チャンネルをご覧ください。



他者参照は本当に効果があるの？

総合教育センターの研修会で、受講者から「他者参照」について以下のような質問がありました。皆さんなら以下の3つの質問についてどのように答えますか？是非近くの先生と話し合ってみてください。

- Q 他者を頼りすぎると力が十分に身に付かないのではないかな？
- Q 他者参照で自信をなくしてしまう子供もいるのでは？
- Q 人のまねばかり（コピペ）してしまう子供が増えるのでは？

※解説については裏面に掲載しています。

Mナビ新聞で校内研修!! 情報セキュリティ意識を高めよう!

定期考査や成績処理、入学試験関連の事務作業が本格的に始まる時期になりました。特に11月～12月の忙しい時期は、子供の個人情報漏えい事故が多発しています。(図3：令和5年度の情報漏洩事故統計参照)

情報セキュリティ事故は成績処理等で忙しくなり、先生方が細かいことに注意が向かなくなった時や机上が煩雑になっている時に発生しやすいと言われています。

やってみよう

図4のイラストは「学期末の職員室」の様子です。このイラストを見て情報セキュリティの観点から気になる点を探し、○を付けて、近くの教師とその理由について話し合ってみてください。

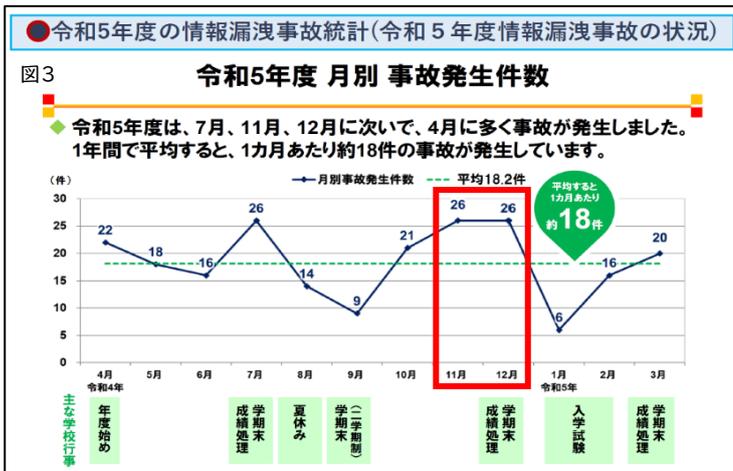
次の視点を意識して、考えを深めるきっかけにいただければと思います。

- ・この職員室に子供や保護者が入ってきたらどうでしょうか。
- ・このまま帰宅してしまったらどうでしょうか。

解答は、二次元コード読み込み、「解答編へ」をクリックすると解答が表示されます。



解答



出典：教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会

図4:学期末の職員



出典：学校情報セキュリティお役立ち Web 今日もワンステップ!イラストで学ぶ!日常に潜む鬼面チェック

職員全体で情報セキュリティへの意識を高め、情報事故を防ぎましょう。

表面の解説

Q 他者を頼りすぎると力が十分に身に付かないのではないかと?

A 学習内容によっては、一人でじっくり考えることが必要な場合もあります。しかし、他者の意見を参考にすることで、他者のアイデアからヒントを得たり、そこから新たな発見やひらめきを得たりすることができます。それにより、個別で課題に取り組むよりも、より深い学びにつなげることが可能になります。

Q 他者参照で自信をなくしてしまう子供もいるのでは?

A 確かにそう思う子供もいるかもしれませんが、しかし、教師として重要なのは、他者を「参照」する意義を子供たちに伝えながら、他者を参考にすることで、自分が成長できたという肯定的に捉える視点を持たせることです。

Q 人のまねばかりしてしまう子供が増えるのでは?

A 学びが止まってしまう子供には、まずは「他者の模倣」から始めるとよいと思います。最初の一步は参考になりそうな友達の意見や書き込みに気付くことです。教師として大事なのは他者の意見を参考にさせながらも、少しずつ自分自身の独自の視点を持てるように支援していくことだと考えます。

編集後記

今号は、「他者参照」を紹介しました。私たち教員も授業をする時に他者の指導案を参照したり、最近では生成AIを活用してAIが生成した内容を参照したりしています。他者を参照することで、仕事を進めやすくなり、新しいアイデアが思い浮かんだりします。是非、子供たちにも学びを深める学習方法の一つとして「他者参照」を実践していただければと思います。

【第32号担当：情報教育班 齋藤】